

# シャンパンfoil・ワインキャップシユール

# K<sup>2</sup>



**KK**  
KITA SANGYO

<参考資料> シャンパング打栓・ワイヤリング・アルミ箔装着のプロセス

**工程01: シャンパング打栓**  
コルクの下半分を責任 (8-15mmφ) 程度に圧縮して瓶口に入れる。  
(1丸の内径は通常 17.5mmφ)

**工程02: ワイヤリング**  
ワイヤード (紐ズリ) を装着します。この工程時の挿入深さは 22-25mmφ (約 1.5 倍程度) (倍)

**工程03: フォイル供給**  
供給している構造、寸法は一概です。(以下詳細)

**工程04: プリーツ**  
<裏1ヘア>  
4つのガーゴ(折り目)を入れる

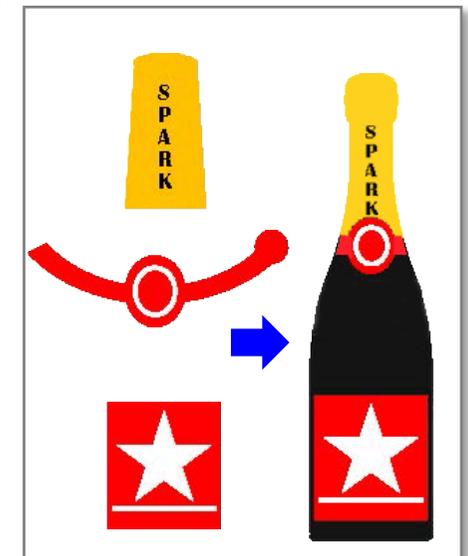
**工程05: フォールド**  
<裏2ヘア>  
フールド(折り曲げる)

※1: DE 13510-101 (包装資材の業界標準のタイプ)

シャンパングは、極めて高い内圧(シャンパンの発酵圧は通常 10~12kg/㎡)があるために開けられるように作ります。シャンパンの圧力に耐えられるワイヤードは、開栓時に脱落はつきず、40℃前後の温度です。コルクを瓶口に入れる際の衝撃で脱落するコルクのコンパニオンは、保証がない状態で開栓する場合は注意が必要です。

www.kitasangyo.com

- ロゴ入りのシャンパンfoilを承ります。また、様々なスパークびんのネック形状に合わせたfoilを準備しています。長年のパートナーのフランス Amcor 社をはじめ、複数のサプライヤーから最適な仕様をお届けします。
- シャンパンfoilの「プリーツ&フォールド機」や、foilの下「360度ネックラベル」も対応いたします。(ネックラベルを装着しないと、開栓後にfoilが脱落します。)
- スティールワインの錫シールやアルミシール、装着用「スピナー機」もお任せください。



kitasangyo.com